

大会に於けるコロナ感染予防対策ガイドライン

本ガイドラインは公益財団法人全日本軟式野球連盟作成 JSBB 感染予防対策ガイドラインを参考にし、作成いたしております。今後の知見集積及び感染状況を踏まえて見直すことがあります。

【はじめに】

学童・大人にかかわらず、活動再開によって感染拡大をさせないことは勿論のこと、無症状であっても他人に感染させる事があることを、日々の活動や試合に関わる全ての人が認識してください。また、活動再開によって医療資源や医療従事者への負担、また罹患された方への差別等の問題があってはならないことを意識して活動してください。

【感染者が発生し行政・関係機関からの指導・協力要請があった場合】

・行政・関係機関の指導により情報提供の要請などがあった場合はこれに従うものとする。しかしはじめに述べたとおり差別などの問題が発生しないよう、連盟・チーム関係者は細心の注意をはらうものとする。

新型コロナウイルス感染症を発症した場合速やかに濃厚接触者の有無をふじみ野市役所文化・スポーツ課に報告をするため、連盟への報告をお願いいたします。

【各チーム活動における予防対策及び遵守事項】

・毎日の体調チェックを行い体調がよくない場合、又は下記に該当する症状がある時は参加を見合わせることを。

(例：発熱、咳、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、嗅覚味覚の異常等の症状)

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は参加を見合わせることを。

・14日以内に感染者との濃厚接触者と特定された方は参加できません。(濃厚接触者の定義は症状の出た日の2日前から、距離1メートル前後に接近しマスクなしで15分以上会話などがあった場合とされています*日々変わる可能性有り)

・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加できません。

・活動に参加した者を把握すること。(学童だけではなく、指導者、帯同者、見学者等)

・こまめな手洗い(石鹸を使い30秒以上)、うがい、アルコール等による手指、共用道具の消毒を徹底する。

・全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控える。

- ・活動中、それ以外の場面も含め周囲の人とできるだけ2メートル以上（最低1メートル）の距離を空ける。（介助者や誘導者の必要な場合を除く）
- ・強度が高い運動は呼気が激しくなるため、より一層距離をあける。
- ・走るトレーニングにおいては前の人の呼気の影響を受けるため、可能であれば前後一直線に並ぶことを避ける。
- ・移動、着替え時等のスポーツ活動以外はできるだけマスクを着用する。但し屋外で2メートル以上の距離が確保できる場合は熱中症リスクを考慮しマスクを外させる。
- ・マスクを着用しての活動の場合は運動強度を落とすこと。
- ・目、鼻、口に極力触れないように心がける。つばや痰をはかない。
- ・必要以上に大きな声で会話応援等はしばらくのあいだは我慢する。
- ・タオル、ペットボトル、コップ等の共有はしない。
- ・飲食については指定場所（指導者が監視できる場所）で対面を避け距離も考える。
- ・各自で水筒などを準備し、休憩や水分補給の時間を多くとること。
- ・子供（特に低身長者）は地面からの照り返しの熱の影響を受けやすいので注意すること。
- ・成長期である事を考慮し、個人のペースに合わせるよう障害予防に努めること。
- ・感染後活動に復帰した者については、より身体機能の低下が予想されるため、特に活動の強度や時間に注意する。
- ・体調不良、けがをした者の介助をする者はあらかじめ2名以上決めておきそのものが行うようにする。
- ・保護者、指導者、参加者についても他人との距離をとり、感染予防対策を徹底するようお願いいたします。

【上記以外で大会参加者等が遵守する事】

- ・参加チームは大会当日感染対策チェックリスト、会場利用者名簿、チーム責任者チェックリスト（各チームメール送信済み）を必ず提出すること。本用紙はメンバー票にはなりません。（個人情報の取扱には十分に注意いたします。）
- ・チーム以外の大会関係者もチェックリストを提出すること。
- ・選手、チーム関係者、役員、主催者、審判員は球場・会場に入る際は必ずマスクを着用すること。
- ・検温は当日必ず自チーム大会役員・審判員は自身で行って、個人用チェックリスト「当日の体温異常がない」の欄に体温を記載してください。
- ・体温計、消毒液は各チームで用意してください。

(これより先は埼玉県スポーツ少年団西部ブロック野球部会様の運営方針を参考に作成いたしましたしております。

・会場での密接を避けるため会場入りは30分前とします。早く到着してしまった場合は駐車場などで密を避けて待機してください。必ず大会役員の許可を得て入場してください。開始時間が9時の場合8時30分から入場可能です。早く到着してのアップなどはできません。基本試合時刻を繰り上げて行わず、開始予定時刻で進行します。

・ベンチ入りメンバーは密を避けるためベンチをはみ出すことを容認します。多目的グラウンド及び第二運動公園においてはベンチを有効活用し見学者が密にならないようにして広く使用してください。

・前チームの退場を確認してから入場しテント・試合中に使用する消毒液等の設営を行ってください。

・ベンチ内においてマスク着用、消毒実施・適切な距離の状況を把握する者はチーム責任者とするが応援者見学者のマスク、消毒状況適切な距離等を把握する者(利用者名簿に星印をつけておく)は1名以上決めておくこと。実施されていない場合責任者に警告をいたします。

警告実施後守られない場合は、チーム全員退場していただきます。

・守備側の選手はマスクを着用しなくて良い。

・攻撃時は、打者・次打者以外は原則マスク着用とする。但しベンチ内密度の回避がはかられ2メートル以上の距離がとられているなどの場合マスクを着用しなくても良い。指導者はマスク着用とする。

・マスクは持参した記名済みのビニールにいれ各自で管理すること。グラウンド内選手への給水は自身の水筒のみとする。

・タオルの使い回しは禁止とします。持参した物を使用すること。

・グラウンドで使用するヘルメット・キャッチャー防具等は適時消毒をする。バッティンググローブの使用を推奨します。ボールボーイも手袋(軍手等)の着用を推奨します。

・会場内での飲食(給水は除く)は、密にならず離れて、同じ方向を向き、黙食を推奨します。

・試合中の応援については、感染予防の観点から以下のとおりとする。

選手同士、指導者・選手の「握手」「ハイタッチ」「グータッチ」等の行為は禁止とします。上記について「エアータッチ」等を考案しても結構です。

・試合中のベンチからの声援・支持は「大声」、「歌」を避け、拍手・ジェスチャーのみとする。

・観客席からの応援は「大声」を避け、「拍手」のみとする。

・試合チームの応援観客については、密集を避け2メートル以上の間隔をあける。この距離が確保できなければ予め応援人数を調整してください。

・試合終了後及び学校施設利用後は、必ず手を触れたものの除菌を行うこと。

(校門・水道廻り・倉庫のドアノブ・鍵・トイレの洗浄レバーや蛇口・その他必要な物)各グラウンドには責任者がいるので、上記間隔で随時行ない、次の試合を行うチームにベンチ入りを案内してください。

・移動は極力自転車を利用していただきたいが、事故等に合わないよう指導者が必ず2名以上同行してください。また車を利用する場合同乗の同意を保護者同士で行ってください。車内においては換気を行い、密閉状態を避けてください。

・上記内容と矛盾が生じますがこの時期は急な雷が発生する可能性があります。避難できるところがすぐそばにない場所においては、子供が避難できる車両は用意しておいてください。

・グラウンド内審判員への給水は行わないものとするが、両チームにおいて飲み物の置き場を確保してください。クーラーボックスか発泡スチロール等が望ましい。

・球審はマスクやシールドを着用、塁審はマスクをしません。協議等があるのでマスクは常に携帯してください。

・熱中症対策の観点より、試合途中の審判員交代を許可します。ただし裏側終了後とします。チーム審の方はあらかじめ交代要員をご用意しておいてください。

・猛暑の場合選手同様、審判休憩タイムを適時とるようにします。

・会場内の水場は密集ができやすいので、指導者や保護者の指導の下、利用させてください。

・メンバー表交換は本部席に限らず距離が保てる場所で行うものとする。選手同士、監督同士の握手はしないこと。

・試合開始前、試合終了後の両チーム集合は選手同士、審判同士十分な距離をとって整列し

握手せず礼のみとする。

以上